

海外安全対策情報

(定期報告:平成26年度第2四半期)

在エチオピア日本国大使館

1. 社会・治安情勢

(1) 当局は、テロを企てたとしてアル・シャバーブ分子を逮捕するなど、テロ対策の強化を継続している。テロのターゲットとなりやすい市内の高級ホテルやレストラン、政府機関等も警戒レベルを上げている状況にある。

(2) 昨年10月14日、当地米国大使館は、ホームページ上において、アディスアベバのボレ地区のレストラン、ホテル、バー、スーパーマーケット及びショッピングモールがテロの対象になる具体的な情報を入手したとして警告を発した。

2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

当地においては、日本人を含む外国人を狙った強盗や窃盗事件が発生している。主な手口は次のとおり。

(1) 強盗事件

強盗被害が発生している。いずれも夜間の時間帯であり、複数による犯行も認められる。暗くなってからの徒歩での移動を控え、車で移動すること、及び自宅から移動ルートを毎日変更するなどして、犯行動機の抑制に努める必要がある。

(2) 窃盗事件

市内の全域において少年らによるスリが発生している。複数の少年が歩行者に近づき、一人が気を引いている間に、他の少年が歩行者のポケットから携帯電話や財布を窃取する手口が認められる。

3. 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

(1) 殺人

邦人被害の届け出はない。

(2) 強盗等

当国における在留邦人数は250名程度であり、必ずしも多くはないが、昨年10月、アディスアベバ市内において在留邦人3名が夜間徒歩にて移動中、複数の男に絡まれ、背後から羽交い締めにもされるなどして所持していたカバン、携帯電話等を強奪される事案が発生した。

4. テロ・爆弾事件発生状況

テロ・爆弾事件の発生はない。

5. 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人被害の届出はない。

6. 自然災害発生の事例

国内において大きな災害は発生していない。

6. 対日感情

対日感情については、問題ない。

注意：エチオピア人の対日感情に問題はないが、エチオピア人の中には中国に対して反感を抱く者もあり、日本人が中国人と間違われ、嫌がらせを受ける可能性はある。

7. 日本企業の安全に係わる諸問題

特になし。